

## 「教会 1－教会の誕生」

タイトル 聖霊によって誕生した教会

テキスト 使徒2：1－4、41－47

参照箇所 使徒2章

暗唱聖句 使徒2：42

### 導入

「教会って何？教会ってどんなところ？」って聞かれたら、みんなはどう答えますか？今日は教会の初まりと最初の教会ではどんなことをしていたのかを聖書から学びましょう。

### ※異言と聖霊のバプテスマについて

聖霊のバプテスマの現れの1つとして異言は聖書の中で明確に語られているが、聖書全体からは、唯一の現れ（しるし）と断定することは避ける（ニューライフの共通見解）。異言の賜物、その重要性については別の機会で紹介します。

### 1 約束の聖霊が注がれました（使徒2：1－4）

十字架にかかって3日目によみがえったイエス様は、聖霊のバプテスマを受けるという約束をして天に昇っていかれました。イエス様が天に昇っていかれた10日後の五旬節というお祭りの日に、弟子たちが集まっているところに、突然天から激しい風が吹いてくるような響きがあり、家全体に響き渡りました。そして炎のように分かれた舌のようなものがひとりひとりの上にとどまりました。するとみんなが聖霊に満たされて、聖霊が語らせるままに自分が普段使っているのとは違う言葉（異言）で神様を賛美し始めたのです。

☞風や炎は、旧約聖書にも記されている象徴と関係しています。風は実際に風が吹いたのではなく、突風のような音が天から起こり、家いっばいに響き渡りました。旧約においても風は御霊の象徴です。炎は、さばきやきよめの炎ではなく礼拝と宮に関係しているようです。アブラハムの祭壇、モーセの幕屋、ソロモンの神殿において、火がぐだって犠牲を焼き尽くし、神が聖所を受け入れたことを示しました（それぞれ1回限りの出来事）。この火の現れは、クリスチャン1人1人を聖霊の宮としてからだ全体を神が受け入れられたことを示すためでした。旧約時代の新しい聖所に火が1回しかくいだらなかつたように、風や炎は教会の誕生としての出来事です。しかし異言は繰り返されています。（ホートン『す

ばらしい聖霊の働き』より)

☞「五旬節」(1)・・・50日目の祭りの意味で、大麦の初穂の束を捧げる日から数えて50日目に行われたことから「ペンテコステ」とも呼ばれる。七週経過することから「七週の祭り」とも呼ばれたり、大麦の収穫が終わり、小麦の収穫となるので「刈り入れの祭り」「初穂の日」とも呼ばれる。「過越の祭り」「仮庵の祭り」とならんでユダヤ人三大祭りの一つ。(『エッセンシャル聖書辞典』などより)

## 2 聖霊によって教会が誕生しました (2:41)

弟子たちが異言で神様を賛美していたことに驚いた人々に対して、ペテロは聖書の言葉が実現したこと(ヨエルの預言の成就)、イエス様を信じることを語りました。するとそのメッセージを受け入れて、イエス様を信じた人々が3000人ぐらいいたのです!そしてその3000人は洗礼(バプテスマ)を受けたのです。

☞学校に創立記念日があるように、教会も誕生日があります。聖霊が注がれたことによって、教会が誕生しました。

## 3 聖霊によって教会は成長しました (2:42)

聖霊が注がれることによって教会は誕生しました。誕生した教会では、どんなことをしていたのでしょうか?教会ってどんなところなのでしょう?42節を一緒に読んでみましょう。洗礼を受けてイエス様の弟子となった人々は、使徒たちの語る聖書の言葉を堅く守っていました。今の教会も同じですね。そして交わりをしていました。交わりというのは、一緒にお話しをしたりすることもそうですが、イエス様を中心にお互いに励まし合ったり助け合ったりしていました。そしてパンを裂いていました。食事を一緒にするというだけでなく、十字架にかかってよみがえったイエス様を礼拝していました。最後に祈っていました。一緒に集まってお互いのために祈り合っていました。

☞「パンを裂く」ことは、愛餐会と聖餐式の両方が含まれているでしょう。パンを裂くことは、十字架の意味を思い返すと共に、今ここにおられる復活のイエス様に会うという意味です。礼拝でも食事の時でも、生きておられる救い主のイエス様が真ん中におられるということです。(『新聖書注解』参照)

## 4 教会の姿

聖霊によって始められた教会は、聖書の教えを守り、お互いに交わることを大切にし、十字架にかかってよみがえったイエス様を礼拝し、一緒に祈るところです。

教会学校のお話をよく聞き、実行していますか？年齢が違っていても教会学校のお友だちと仲良くしていますか？教会は十字架のイエス様を礼拝するところです。聖霊によって誕生した教会は、これからもお互いのために祈り合っていくところです。聖霊によって始まった教会ですから、そうしていく力も聖霊が与えてくれます。